

【省力化農業転換優先枠の対象となる機械等】

参考資料 1

省力化農業転換優先枠は、下記のロボット技術や情報通信技術（ＩＣＴ）等の先端技術を活用した機械等（労働力不足の解消、農産物の価値向上等の農業経営上の課題への対応に資することが確実と見込まれるものに限る。）の導入により省力化農業への転換を図る取組が対象です。

※ 助成対象者の事業費の2分の1を超える事業費を、対象機械等（対象機械及びその関連機械等）の導入に充てる助成対象者を優先枠の対象とし、その助成対象者の要望する機械等の全体に予算を配分します。

対象となる機械等の種類	概 要
① 農業用機械の自動操舵システム	・ ＧＰＳ等の活用により、農業用機械の直進部分の操舵を自動で行うシステム ・ 自動操舵システムを内蔵した農業用機械やＲＴＫ－ＧＰＳ基地局を含む
② 土壌センサー搭載型可変施肥田植機	・ 土壌肥沃度等のセンサーを搭載し、肥沃度に応じて施肥量を自動で調節する機能を有する田植機。
③ 農薬散布等用無人航空機（マルチコプターを含む）	・ 農薬・肥料等の空中散布や作物の生育状況等のセンシングを行う無人航空機 ・ マルチコプター（いわゆるドローン）を含む
④ 自動収穫・選果作業機	・ ロボット技術（センサー、知能・制御系、駆動系の3つの要素技術を有する知能化した機械システム。以下同じ。）の活用により、収穫又は選果を自動で行う機械
⑤ 水田の高度水管理システム	・ 水田において、水位、水温等のセンサーで得られた情報を基に、給排水栓等の制御をICTを活用して遠隔操作又は自動で行うシステム
⑥ 施設園芸の高度環境制御システム	・ 園芸施設において、温度、湿度、日射量、ＣＯ２等のセンサーで得られた複数の情報を基に、暖房機や天窓、カーテン、循環扇等の複数の環境制御機器の制御をＩＣＴを活用して遠隔操作又は自動で行うシステム
⑦ ほ場環境等に応じた生産管理最適化システム	・ ほ場環境（温度、湿度、日照量等）、土壌状態（水位、肥沃度等）、作物の生育状況等のセンサーで得られた複数の情報を基に、ＩＣＴを活用して最適な生産管理を可能とするシステム ・ システムからの情報に応じて、施肥量等を自動で調節する機能を有する農業用機械を含む
⑧ 牛個体管理システム	・ センシング技術、画像処理技術等の活用により、牛個体の発情、健康状態等を計測し、その計測データに応じた管理を可能とするシステム
⑨ 都道府県特認機械等（その他）	・ ロボット技術やＩＣＴ等の先端技術を活用した新たな農業用機械等であって、労働力不足の解消や生産性の向上、農産物の高付加価値化等の農業経営上の課題への対応に資するものとして都道府県が特に必要と判断するもの（都道府県は、判断の際に地方農政局等と協議すること）

※ アシストスーツについては、（１）農産物の生産等に係る作業に使用する期間内において他用途に使用されないものであること、（２）農業経営において真に必要であること、（３）導入後の適正利用が確認できるものであることの要件を全て満たす場合は、「⑨都道府県特認機械等（その他）」の対象に含まれます。

【みどり農業推進優先枠の対象となる機械等】

以下の（１）及び（２）に該当する機械等が対象です。また、併せて対象とすることも可能です。

※ 助成対象者の事業費の２分の１を超える事業費を、対象機械等（対象機械及びその関連機械等）の導入に充てる助成対象者を優先枠の対象とし、その助成対象者の要望する機械等の全体に予算を配分します。

（１） **みどりの食料システム法**に基づき、**環境負荷低減事業活動実施計画**又は**特定環境負荷低減事業活動実施計画**の認定を受けた計画の活動に関連する機械等

下記の環境負荷低減事業活動に関連する機械等

- ① 土づくり、化学肥料・化学農薬の使用低減の取組を一体的に行う事業活動（有機農業の取組を含む。）
- ② 温室効果ガスの排出の量の削減に資する事業活動
- ③ 別途、農林水産大臣が定める事業活動
 - ・ 水耕栽培における化学肥料・化学農薬使用低減・環境中への窒素・リン等の流出を抑制する飼料の投与等
 - ・ バイオ炭の農地への施用・プラスチック資材の排出又は流出の抑制
 - ・ 化学肥料・化学農薬の使用低減と合わせ、地域における生物多様性の保全に資する技術等を用いて行う事業活動

※ 特定環境負荷低減事業活動は、地域の関係者が一体となって特定区域の区域内で行われる事業活動

（２） **化石燃料使用量の15%以上の削減**又は**化学肥料使用量の20%以上の削減**を図る取組に必要な機械等

取組内容	対象となる機械等の例
化石燃料を15%以上削減	・ 木質バイオマスボイラー
	・ 燃油暖房機とヒートポンプの併用
	・ 電動草刈機
	・ 水田水管理省力化システム
	・ GNSS自動操舵システム
化学肥料を20%以上削減	・ マニユアスプレッタ（堆肥散布機）
	・ 土壌センサ搭載型可変施肥田植機
	・ ハウス栽培における自動かん水システム
	・ 局所施肥ドローン